

動への積極的な参加を促進するため、市民総合文化祭や沖展選抜展などを開催します。

また、市民の創作活動を発表する機会の提供や全島獅子舞フェスティバルを開催するなど、文化芸術にふれあう場を提供します。

芸術・文化施設については、市民芸術劇場など各芸術文化ホールの施設・設備を機能強化するとともに、自主企画事業やふるさと芸能デーなどの地域振興事業を展開します。

文化財については、文化財総合整備調査活用事業及び蔡大鼎「伊計村遊草」等調査研究事業などを実施し、貴重な歴史遺産の宝庫である本市の特性を生かしたまちづくりを推進するとともに、郷土に愛着と誇りのもてる歴史教育の普及に努めます。

また、世界遺産勝連城跡については、指定地の公有化に向けた土地買上事業を推進するとともに、引き続き整備を行います。

### 第3 うるま市の魅力を生かした産業を育てます

農業振興については、「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に基づき、効率的な農業経営の指導と担い手育成に努めます。

また、認定農家に対しては農業経営改善計画の目標達成に向け、経営安定と経営改善の円滑な推進が図られるよ



全島獅子舞フェスティバル

う支援します。

農業振興地域整備計画の見直しについては、本年度策定に向けて取り組みます。

農業用廃プラスチックの処分については、適正処理の推進と農家の負担軽減を図るため、引き続き助成を実施します。

農業農村整備については、生産基盤の整備と生産性の向上を図るため、県営農地保全整備事業（上原2期地区）、県営かんがい排水事業（うるま地区）、市営事業として、農山漁村活性化プロジェクト交付金事業（うるま第3地区）、団体営ため池等整備事業（山城地区）、農業体質強化基盤整備事業（うるま地区）の事業を引き続き推進するとともに、新たに県営かんがい排水事業（津堅地区）を推進します。

また、農業用水供給地域を拡大し与勝地下ダム等の利用を促進するとともに、農産物の生産拡大と農業経営の安定化を推進します。

畜産振興については、畜産共進会の開催や優良牛牛生産補助事業及び優良種豚貸付事業を実施し、生産農家や関係団体の育成及び経営安定を図ります。

水産業の振興については、漁業経営の安定化と効率化を図るため、県営事業として水産流通基盤整備事業（平敷屋地区）、市営事業として水産生産基盤整備事業（津堅地区）を推進するとともに、漁村再生交付金事業として新たに浜及び比嘉地区の漁港整備に取り組みます。

農水産物の生産振興及び販路拡大を図るため、農水産物直売所等複合施設の整備を推進します。

商工業については、うるま市商工会と連携し、小規模企業に対する融資制度や各種相談、地域活性化事業を行うとともに、経営セミナーの開催やセーフティーネット保証、中小企業融資保証料補助による中小企業者の支援に努めます。

また、市内の消費拡大による商業サービス業等の活性化を図るため、本年度も引き続き「うるま商品券発行事業」を実施するとともに、市内業者を活用しリフォーム工事を行った場合に、商品券を支給する「住宅リフォーム奨励事業」を新たに実施します。

さらに、商工業の振興を図るため、「うるま市中小企業振興基本条例」の制定

に取り組みます。

企業立地については、「うるま市・金武町企業立地促進基本計画」に基づき、企業立地推進コーディネーターと連携した積極的な企業誘致活動を展開し、製造関連産業、情報通信産業及び観光・リゾート産業の立地集積を図るとともに、コンカレントエンジニア人材養成事業、中城湾港新港地区物流促進支援事業などに取り組みます。

また、昨年度実施した産業集積戦略構築調査事業の結果を踏まえ、沖縄科学技術大学院大学に近い地理的優位性を生かし、新たな産業集積基本計画を策定します。

観光振興については、うるまブランドの「闘牛、エイサー、勝連城跡、海中道路」を中心に、本市ならではの観光基盤の構築に取り組みます。

観光地の整備としては、アクセスの利便性を高めるため、主要幹線道路における誘導サインの設置や観光ルートの構築に取り組みるとともに、効果的な観光誘客を図るため、飛行機の機内誌など各種メディアを活用した観光情報積極的に発信します。

また、風光明媚な自然環境と伝統芸能・文化を生かした「あやはし海中ロードレース大会」や「うるま市エイサーまつり」を開催するとともに、現代版組踊「肝高の阿麻和利」などを基盤とした交流体験事業やリゾートウエディングなどを推進し、うるま市ならではの観光商品開発に取り組みます。